

カリキュラムツリー
(2026年度入学生)
健康医療スポーツ学部
医療スポーツ学科
救急救命士コース

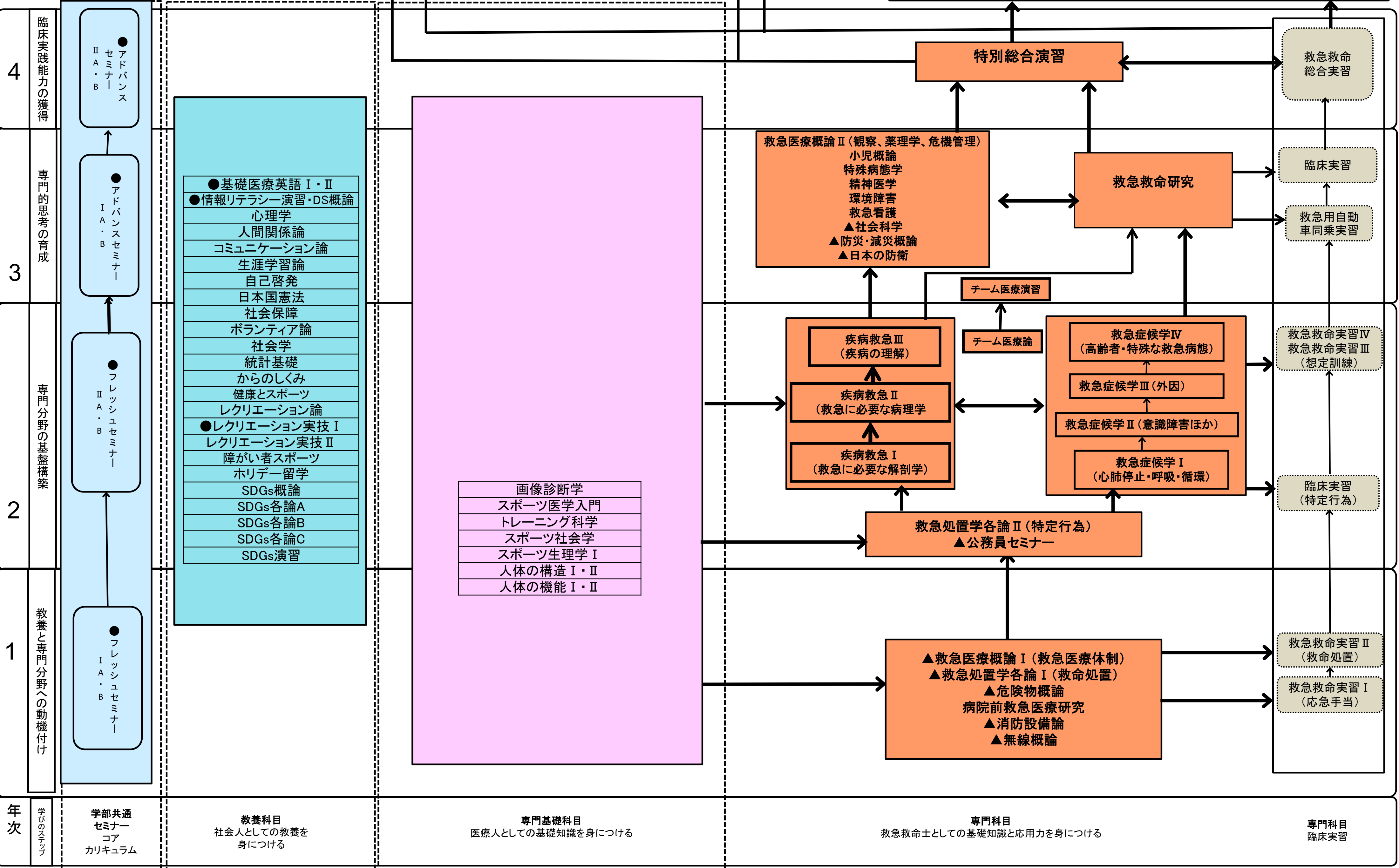
● 必修 ▲選択必修科目

DP1 知識・理解
①社会人として、幅広い視野に立った教養を修得している。
②人体の機能や構造等、救急救命処置に必要な基礎的な知識を有している。
③救急救命医療についての体系的な知識と技能・態度を修得している。
④医療・保健・福祉に関する基礎的な知識を修得している。
⑤多様性を理解し国際的な視野を持って臨床に臨む姿勢を有している。
⑥多職種連携を実践できるコミュニケーション技能を修得している。
⑦救急救命学を追求し、発展させるために必要な専門的知識を有している。

DP2 当該分野固有の能力
①傷病者の状況に応じた観察・判断・処置・評価を実施する能力を有している。
②救急救命医療領域と連携する医療・福祉分野で必要とされる医療技術を有している。
③救急救命領域の技術を適切に活用できる実践能力を有している。
④様々な状況に適応し、自身を管理する能力を有している。
⑤身体的・精神的な健康情報を把握し、適切な救急医療を提供する能力を有している。

DP3 汎用的能力
①一般常識を有し、医療従事者として模範的な生活を送ることができる。
②多様性を尊重し、積極的なコミュニケーションを図ることができる。
③自身の考えを整理し、様々な手段を用い相手に伝えることができる。
④広い視野を持ち、グローバルな社会における対応力を有している。

DP4 態度・姿勢
①救急救命士としての自覚と責任を有している。
②救急救命医療における知識と技術を基に積極的に社会に貢献し発信する姿勢を有している。
③救急救命医療における知識と技術を基に健康・医療・スポーツ分野へ貢献する姿勢を有している。
④医療・福祉分野等の多職種と連携する態度・姿勢を有している。
⑤国際的な視野を持ち、多様性を理解する姿勢を有している。



カリキュラムツリー
(2025年度入学生)
健康医療スポーツ学部
医療スポーツ学科
救急救命士コース

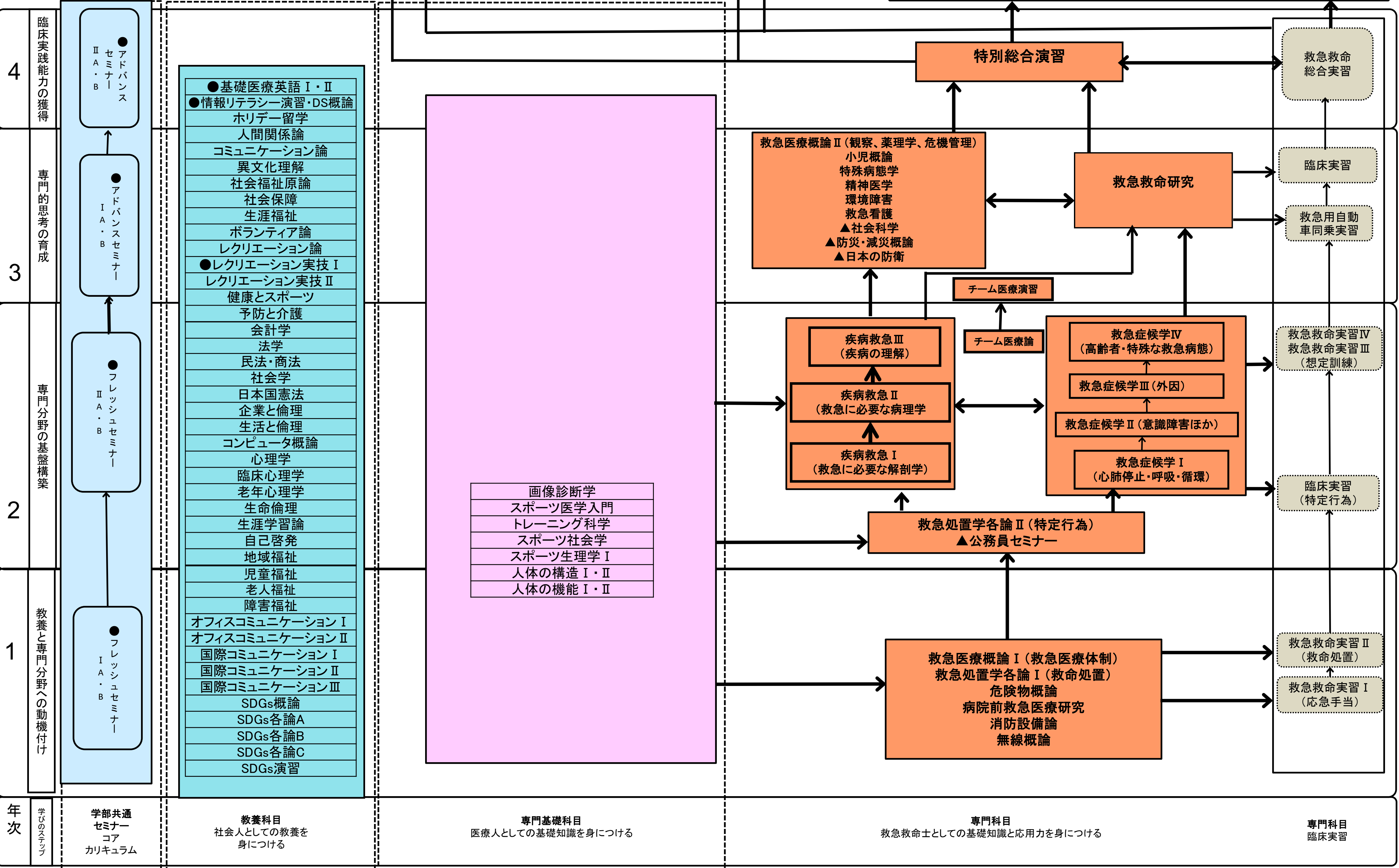
● 必修

DP1 知識・理解
①社会人として、幅広い視野に立った教養を修得している。
②人体の機能や構造等、救急救命処置に必要な基礎的な知識を有している。
③救急救命医療についての体系的な知識と技能・態度を修得している。
④医療・保健・福祉に関する基礎的な知識を修得している。
⑤多様性を理解し国際的な視野を持って臨床に臨む姿勢を有している。
⑥多職種連携を実践できるコミュニケーション技能を修得している。
⑦救急救命学を追求し、発展させるために必要な専門的知識を有している。

DP2 当該分野固有の能力
①傷病者の状況に応じた観察・判断・処置・評価を実施する能力を有している。
②救急救命医療領域と連携する医療・福祉分野で必要とされる医療技術を有している。
③救急救命領域の技術を適切に活用できる実践能力を有している。
④様々な状況に適応し、自身を管理する能力を有している。
⑤身体的・精神的な健康情報を把握し、適切な救急救命を提供する能力を有している。

DP3 汎用的能力
①一般常識を有し、医療従事者として模範的な生活を送ることができる。
②多様性を尊重し、積極的なコミュニケーションを図ることができる。
③自身の考えを整理し、様々な手段を用い相手に伝えることができる。
④広い視野を持ち、グローバルな社会における対応力を有している。

DP4 態度・姿勢
①救急救命士としての自覚と責任を有している。
②救急救命医療における知識と技術を基に積極的に社会に貢献し発信する姿勢を有している。
③救急救命医療における知識と技術を基に健康・医療・スポーツ分野へ貢献する姿勢を有している。
④医療・福祉分野等の多職種と連携する態度・姿勢を有している。
⑤国際的な視野を持ち、多様性を理解する姿勢を有している。



カリキュラムツリー
(2024年度入学生)
健康医療スポーツ学部
医療スポーツ学科
救急救命士コース

● 必修

DP1 多様な文化や背景をもつ
人々と意見を交わすことができる
知識とコミュニケーション能力を有
している

DP2 国際的な視野から様々な
健康情報を積極的に把握し、必
要な行動を示すことができる自
己管理能力を有している

DP3 救急救命領域の知識と技術を
修得し、それらを適切に活用できる実
践力と責任感、倫理観を有している

DP4 生命の危機に瀕している人に対して積
極的に救命医療を実践し、地域の健康の増
進に貢献できる能力を有している

国 家 試 験

特別総合演習

救急救命
総合実習

臨床実習

救急用自動
車同乗実習

救急救命研究

小児概論
特殊病態学
精神医学
環境障害
救急看護
社会科学
防災・減災概論
日本の防衛

チーム医療演習

チーム医療論

疾病救急Ⅲ
(疾病の理解)

疾病救急Ⅱ
(救急に必要な病理学)

疾病救急Ⅰ
(救急に必要な解剖学)

救急症候学Ⅳ
(高齢者・特殊な救急病態)

救急症候学Ⅲ(外因)

救急症候学Ⅱ(意識障害ほか)

救急症候学Ⅰ
(心肺停止・呼吸・循環)

救急救命実習Ⅳ
救急救命実習Ⅲ
(想定訓練)

臨床実習
(特定行為)

救急医療概論Ⅱ(観察、薬理学、危機管理)
救急処置学各論Ⅱ(特定行為)
公務員セミナー

救急医療概論Ⅰ(救急医療体制)
救急処置学各論Ⅰ(救命処置)
危険物概論
病院前救急医療研究
消防設備論
無線概論

救急救命実習Ⅱ
(救命処置)

救急救命実習Ⅰ
(応急手当)

4

臨床実践能力の獲得

●アド
バンス
セミナ
ー
Ⅱ
A・B

3

専門的思考の育成

●アド
バンス
セミナ
ー
Ⅰ
A・B

2

専門分野の基盤構築

●フレ
ッシュ
セミナ
ー
Ⅱ
A・B

1

教養と専門分野への動機付け

●フレ
ッシュ
セミナ
ー
Ⅰ
A・B

年次

学びのステップ

学部共通
セミナー
コア
カリキュラム

●基礎医療英語Ⅰ・Ⅱ
●情報リテラシー演習・DS概論
ホリデー留学
人間関係論
コミュニケーション論
異文化理解
社会福祉原論
社会保障
生涯福祉
ボランティア論
レクリエーション論
●レクリエーション実技Ⅰ
レクリエーション実技Ⅱ
健康とスポーツ
予防と介護

会計学
法学
民法・商法
社会学
日本国憲法
企業と倫理
生活と倫理
コンピュータ概論
心理学
臨床心理学
老年心理学
生命倫理
生涯学習論
自己啓発
地域福祉

児童福祉
老人福祉
障害福祉
オフィスコミュニケーションⅠ
オフィスコミュニケーションⅡ
国際コミュニケーションⅠ
国際コミュニケーションⅡ
国際コミュニケーションⅢ
SDGs概論
SDGs各論A
SDGs各論B
SDGs各論C
SDGs演習

教養科目
社会人としての教養を
身につける

画像診断学
スポーツ医学入門
スポーツコンディショニング
トレーニング科学
スポーツ社会学

スポーツ生理学Ⅰ
人体の構造Ⅰ・Ⅱ
人体の機能Ⅰ・Ⅱ

専門基礎科目
医療人としての基礎知識を身につける

専門科目
救急救命士としての基礎知識と応用力を身につける

専門科目
臨床実習

カリキュラムツリー
健康医療スポーツ学部
医療スポーツ学科
救急救命士コース
(2023年度入学生)

● 必修

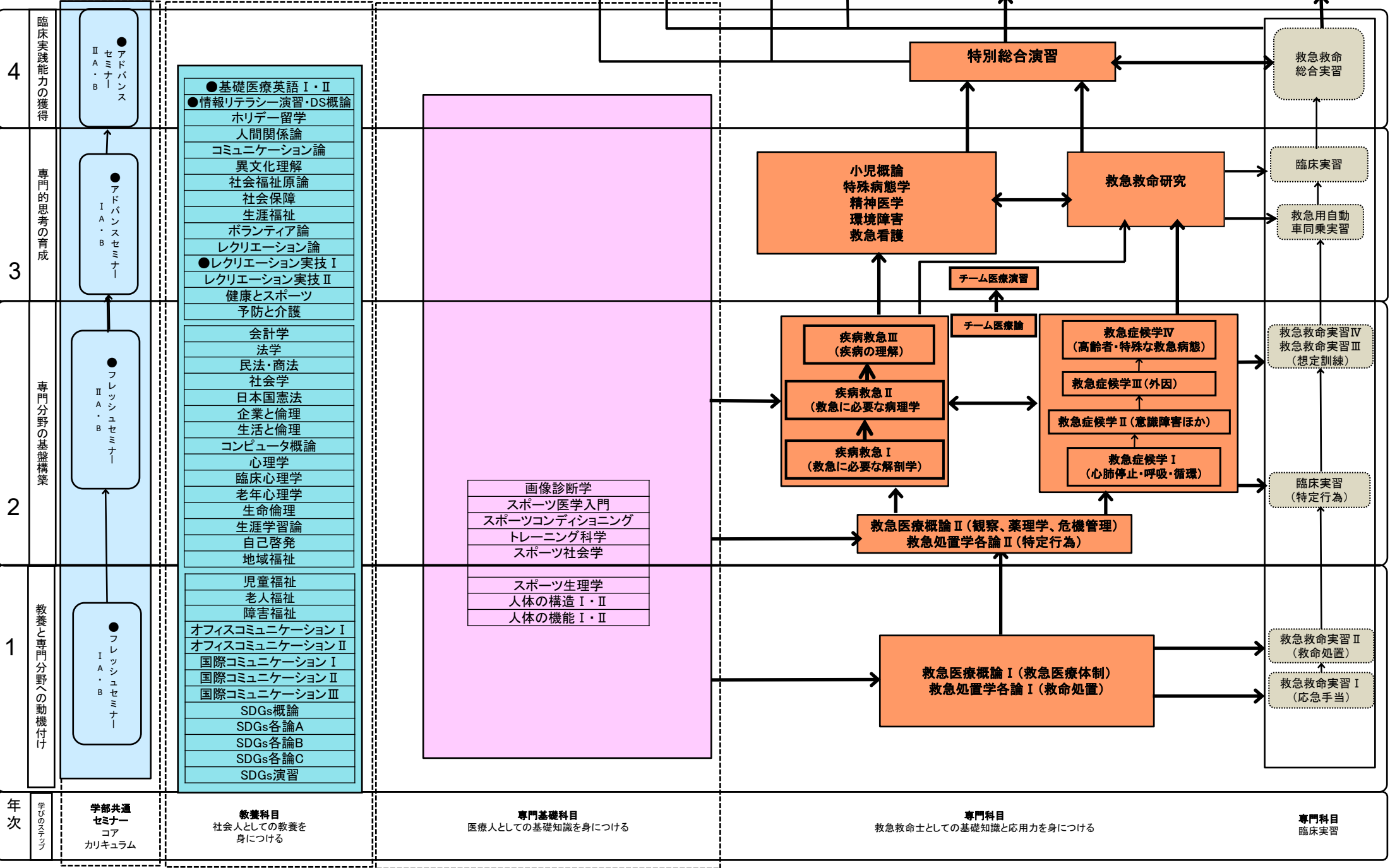
DP1 多様な文化や背景をもつ人々と意見を交わすことができる知識とコミュニケーション能力を有している

DP2 国際的な視野から様々な健康情報を積極的に把握し、必要な行動を示すことができる自己管理能力を有している

DP3 救急救命領域の知識と技術を修得し、それらを適切に活用できる実践力と責任感、倫理観を有している

DP4 生命の危機に瀕している人に対して積極的に救命医療を実践し、地域の健康の増進に貢献できる能力を有している

国 家 試 験



(2018年度～2022年度入学生)

● **必修**

